

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-283228

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)12月13日

H 04 B 1/06

Z-6745-5K

H 04 N 5/44

U-6745-5K

D-7423-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 テレビ受像機

⑯ 特 願 昭60-125445

⑰ 出 願 昭60(1985)6月10日

⑱ 発 明 者 桜 井 務 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 発明の名称

テレビ受像機

2. 特許請求の範囲

内部時計と、あらかじめ定められた任意の記号をパスワードとして登録記憶する手段と正しいパスワードを入力した場合に限りテレビ受像機の電源をOFFする時刻および期間を登録記憶する手段とを有する電池により停電保護された制御回路と、前記制御回路からの指示により受像回路への電源供給を断つための切断回路と、前記内部時計の時間と比較しあらかじめ設定した電源OFF時刻から、設定した期間は通常の電源ON操作を行っても電源が投入できないようにするための電源制御部とを含むことを特徴とするテレビ受像機。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、テレビ受像機、特に電源制御機能を有するテレビ受像機に関する。

〔従来の技術〕

現在のテレビ放送は、沢山の放送局があり、その放送番組も多種多様であり、現代の家庭において不可欠なものになっている。一方幼児、小学生程度の子供にとっては、大きな魅力になっており、テレビを長時間見続けることが問題になっている。

従来のテレビ受像機は、操作が大変簡単であり幼児でも操作の仕方は知っているし、操作することが可能である。

〔発明が解決しようとする問題点〕

このため、従来のテレビ受像機は上述のように操作が簡単であるためにテレビを見る時間を制限しようとしても制限できないという欠点があった。

本発明の目的は親がテレビ受像機の電源をOFFする時刻、期間を設定し、その設定した期間は通常の電源ON操作では電源ONできないようにし、パスワードにより子供に電源OFF時間を変更できないようにすることにより、テレビを見すぎな

特開昭61-283228 (2)

いようにしつける手段を提供することにある。

(問題点を解決するための手段)

本発明のテレビ受像機は、内部時計と電源OFF時刻、電源OFF期間の設定およびパスワードを設定するための入力部と電源OFF時刻、電源OFF期間等を表示するための表示部とパスワード、電源OFF時刻および電源OFF期間を記憶するとともに制御用として使用する内部記憶と前記の各部を制御するための内部プロセッサとからなる電源制御部と、停電時に電源制御部へ電源供給するための電池と、テレビ放送を受信し受像する内部に必要な直流電源を生成する整流回路を具備した受像回路と、電源制御部からの指示により入力交流電源を受像回路へ出力しないよう切断する切断回路と、通常の電源ON/OFF操作を行うための電源スイッチ、および交流電源を受電し、電源制御部、切断回路へ電源供給を行う制御用整流電源とを含んで構成される。

(実施例)

次に、本発明の実施例について、図面を参照し

電源制御部3からの指示により入力交流電源を受像回路5へ出力しないよう切断するためのものである。また、電源スイッチ6は通常の電源ON/OFF操作を行うためのものである。制御用整流電源1は、交流電源を受電し、電源制御部3および切断回路4へ電源供給を行うためのものである。

次に、第1図に示す実施例の動作を説明する。

なお、第1図に示す実施例の説明では電源をOFFする時刻とその時刻から電源をOFFしておく期間をあらかじめ設定し、毎日その時間帯はパスワードを指定しない限り電源をONにできないようにした例である。

まず、パスワードの登録について説明する。

入力部7からあらかじめ定められた手順により任意の記号を決められた桁数入力する。内部プロセッサ8はそれを順次読取り、内部記憶9の定められたバッファエリアに格納するとともに表示部10に表示する。パスワード登録者は表示部10を見て登録するパスワードを確認し、良ければ、あらかじめ定められた、入力終了を示す操作を行

て詳細に説明する。

第1図は本発明の一実施例を示すブロック図である。第2図は第1図に示す電源制御部の詳細構成を示したブロック図である。

第1図に示すテレビ受像機は、制御用整流電源1と、電池2と、電源制御部3と、切断回路4と、受像回路5と、電源スイッチ6とを含んで構成される。

第2図に示す電源制御部3は、内部時計11と、電源OFF時刻、電源OFF期間の設定およびパスワードを設定するための入力部7と、電源OFF時刻および電源OFF期間等を表示するための表示部10と、パスワード、電源OFF時刻および電源OFF期間を記憶するための内部記憶9と、上記各部を制御するための内部プロセッサ8とを含んで構成される。

電池2は停電時に電源制御部3へ電源を供給するためのものであり、受像回路5は、テレビ放送を受信受像するために内部に必要な直流電源を生成する整流回路を具備している。切断回路4は、

内部プロセッサ8はそれを読取り内部記憶9のバッファエリアからパスワードを脱出しパスワード格納エリアにパスワードとして登録し、以後表示部10への表示はしない。

次に、電源OFF時刻、および電源OFF期間の登録動作について説明する。

入力部7からあらかじめ定められた時間登録を示すキーを押下する。内部プロセッサ8はそれを読取り、時間登録のモードとし、表示部10に入力をする旨の表示をする。

操作者は次に入力部7からパスワードを入力する。内部プロセッサ8はそれを読取り順次内部記憶9のバッファエリアに格納する。

パスワードの入力終了時に入力終了を示すキーを押下する。内部プロセッサ8はそれを読取り、バッファ記憶に格納されたデータと、あらかじめ格納したパスワードとを比較して不一致であれば表示部10にエラー表示をする。また、一致すれば、内部プロセッサ8は電源OFF時刻の入力を指示する旨を表示部10に表示する。操作者は入

特開昭61-283228 (3)

力部 7 より任意の電源 OFF 時刻「時」、分」を入力する。内部プロセッサ 8 はそれを順次入力部 7 から読取り、内部記憶 9 のバッファエリアに格納すると同時に、表示部 10 に表示する。

操作者は表示部 10 を見て確認し、良ければ入力部 7 の入力終了を示すキーを押下する。内部プロセッサ 8 はそれを読取り、入力した時刻に論理的な誤りがあるか否かチェックし、誤りがあれば表示部 10 にエラー表示をし、再入力をうながす。正常であれば内部記憶 9 の切断時刻格納エリアに格納し、表示部 10 に電源 OFF 期間を入力する旨を表示する。

操作者は電源 OFF 期間を「時間」、「分」で入力部 7 から入力する。内部プロセッサ 8 はそれを読取り、内部記憶 9 のバッファエリアに格納するとともに表示部 10 に表示する。操作者は表示部 10 で電源 OFF 期間を確認し良ければ入力終了を示すキーを押下する。内部プロセッサ 8 は電源 OFF 期間に論理的な誤りがないか否かチェックし、誤りがあれば表示部 10 に誤りを表示し再

入力を指示する。誤りが無ければバッファエリアに格納した電源 OFF 期間を読出し、内部記憶 9 の電源 OFF 期間格納エリアに格納し、動作を開始する。

内部プロセッサ 8 は内部時計 11 の時間を一定間隔で読み内部記憶 9 に格納された OFF 時刻と比較する。OFF 時刻になっていなければ、切断回路 4 に対して、切断指令を出さないで、交流電源入力点 A から入力された交流電源は、電源スイッチ 6 を ON にすれば受像回路 5 に供給され、自由に電源 ON / OFF が可能である。

内部時計 11 の時間が電源 OFF 時刻を過ぎた場合、電源制御部 3 から切断回路 4 に対して切断指令を出し、交流電源を切断回路 4 で切断し、電源スイッチ 6 を操作しても受像回路 5 に電源供給されず、テレビを見ることができない。

内部プロセッサ 8 は同期的に内部時計 11 から時計を読み、電源 OFF 期間中は切断回路 4 に切断指令を出し続ける。さらに電源 OFF 期間を過ぎれば切断指令を切断回路 4 に出すのを止め、再

び電源スイッチ 6 により、電源 ON / OFF が可能となる。

交流電源入力点 A から入力された交流電源は制御用整流電源 1 で整流し、電源制御部 3、切断回路 4 に供給する。

停電時にも電池 2 から電源制御部 3 に電源供給され、内部記憶 9 に格納された電源 OFF 時刻、電源 OFF 期間、パスワード等も保護される。

電源 OFF 時刻、電源 OFF 期間の設定の方法は電源制御部 3 の構成により種々に構成することが可能である。

〔発明の効果〕

本発明のテレビ受像機は、電源 OFF 時刻、電源 OFF 期間をあらかじめ設定しておくことにより、自動的に電源を OFF し、幼児、子供のテレビの見過ぎを防止できるとともに、パスワード設定者しか、設定時間を変更できないため、子供に対する適切なしつけをする手段を提供することができるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

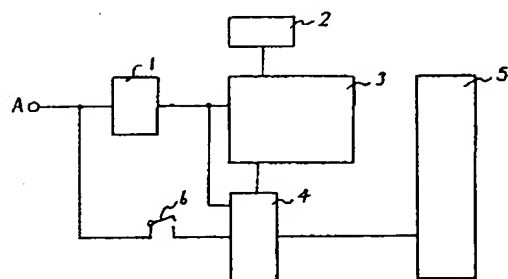
第 1 図は本発明の一実施例を示すブロック図、第 2 図は第 1 図に示す電源制御部の詳細構成を示すブロック図である。

1……制御用整流電源、2……電池、3……電源制御部、4……切断回路、5……受像回路、6……電源スイッチ、7……入力部、8……内部プロセッサ、9……内部記憶、10……表示部、11……内部時計、A……交流電源入力点、B……接続点。

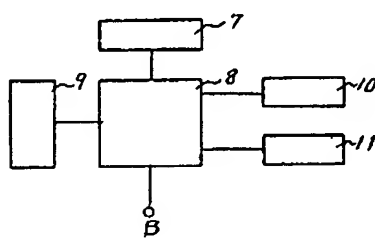
代理人 弁理士 内 原 晋



特開昭61-283228 (4)



第 1 図



第 2 図